

【開催要項】

奈良女子大学附属中等教育学校 公開研究会 2025 ラウンドテーブル 「生徒と教師にとっての学びとは何か ～生徒と教師の語りから考える～」

1.開催趣旨と目的

「令和の日本型学校教育」の実現に向け、学校教育は大きな転換期を迎えています。

生徒の学びにおいては、受け身で知識を習得するだけでなく、自ら問いを立て、他者と協働しながら解を見出していく「主体的な学び」が求められています。同時に、教師の学びもまた、変容を迫られています。これまでの「正解を教えるための技術を学ぶ研修」から、教師自身が探究者となり、生徒と共に迷い、考え、実践を省察する「自律的な学び」への転換が必要です。

本研究会では、「生徒と教師にとっての学びとは何か」をテーマに、この両者の学びの重なり合いに光を当てます。当日は、授業の枠を超え、部活動や生徒会、有志活動などに主体的に取り組んできた生徒が登壇し、活動を通して何を得て、何を学んだのかを自身の言葉で語ります。あわせて、その活動を支えてきた教師が、関わりの中で自身がどう揺れ動き、何を学んだのかを語ります。成功談だけでなく、指導上の迷いや葛藤も含めたありのままの語りから、教師自身の学びの軌跡を共有します。

グループ対話では、探究の成果や完成度を評価・講評することを目的としません。焦点となるのは、生徒が問いに迷った時間、教師の考えが揺れ動いた場面、そして言葉になりきらなかった経験です。そうした「プロセス」を、生徒、教員、そして参加者の皆様がそれぞれの立場から対等な関係で共有し、「問い」を深めていきます。そこから、人が関わり合いながら学ぶことの豊かさが立ち現れてくることを期待しています。生徒と教師、そして大人が、立場を超えて「学び」という営みを共に問い直し続けるための場を、皆様と作り上げたいと考えています。

2.開催日及び日程

(1) 開催日：2026年2月14日（土）13：00～15：00

(2) 日程（予定）

13：00-13：10 Session0 企画の趣旨説明

13：10-13：35 Session1 生徒の語りを聴く

13：35-14：00 Session2 グループ対話①

14：00-14：20 Session3 学びを支える人の語りを聴く

14：20-14：55 Session4 グループ対話②

14：55-15：00 リフレクション

3.会場：奈良女子大学附属中等教育学校 多目的ホール

4.対象：中高生・教職員（教育行政職員・教育研究者含む）・おとな（学生・院生・民間）など

5.問い合わせ先：山口 琢士 t-yamaguchi@cc.nara-wu.ac.jp 0742-26-2571（奈良女子大学附属中等教育学校）

6.申し込み方法：Google フォームより申し込み（期限：2月5日）

